

# 優良ソーラーシステム認証制度 関係規程 (記入例)

平成 29 年 7 月

一般社団法人ソーラーシステム振興協会

優良ソーラーシステム認証申請書  
( 新規 ・ 更新 )

平成〇〇年〇〇月〇〇日

一般社団法人 ソーラーシステム振興協会

会 長 〇〇 〇〇 殿

( 企 業 名 ) ソ振協株式会社 印

( 住 所 ) 東京都中央区八重洲・・・

( 連 絡 責 任 者 ) 太陽 太郎

( 連 絡 責 任 者 ) ソーラー 次郎

( 所 属 ) 技術部

( 連 絡 先 ) 東京都中央区八重洲・・・

優良ソーラーシステム認証規程第 3 条の規定に基づき、下記のソーラーシステム等の認証を申請します。

記

ソーラーシステム等の品目、名称及び型式

品 目	給湯システム	区分記号	W
名称及び型式	PSW-0420、PSW-0620、PSW-0820、PSW-1020		

注1. 新規、更新は該当するものに○印をする。

注2. この様式の次に、申請するソーラーシステム等毎に必要な様式を添付すること。

※別紙 2 参照

更新の場合

現在の認証番号	
---------	--

※別紙 2 参照の上、必要書類を添付すること。

関係規程 P9

汎用システム及び供給体制の概要

区分記号	型式
製造工場又は製造事業所の名称	ソ振協(株) 埼玉工場
製造工場又は製造事業所の所在地	埼玉県〇〇市・・・

項目	内容	
施設の概要	(1) 製造販売者	ソ振協株式会社
	(2) システムの種類	給湯システム
	(3) 設置場所	全国
	(4) システムの用途	給湯
	(5) システムの規模	集熱面積 4 m <sup>2</sup> ~10 m <sup>2</sup> 蓄熱槽容量 200ℓ
	(6) システムの特色	*****
	(7) システム系統図	別紙「システム概要図」のとおり <sup>注1</sup>
	(8) システムの構成機器	別紙「構成機器一覧表」のとおり <sup>注1、注2</sup>
構成部材	(1) 太陽集熱器	型式：SSC-1020 認証番号：〇〇〇〇〇〇〇、
	(2) 太陽蓄熱槽	型式：SST-200 認証番号：〇〇〇〇〇〇〇、
	(3) 集熱ファン	型式：〇〇-〇〇〇〇 認証番号：〇〇〇〇〇〇〇、
	(4) 配管又はダクト	※代表的な配管径と断熱材の厚さ 熱媒配管内径 10mm、保温厚 10mm
	(5) 熱媒の種類と濃度	種類：プロピレングリコール 濃度：33%
供給体制等	(1) 販売方法	全国の住設店や管材店等を通して販売・施工を行う
	(2) 供給能力	年間 5,000 セット
	(3) 販売開始時期	平成 25 年 4 月
	(4) 販売地域	全国
	(5) 無償保証の期間	3 年間
	(6) 補修部品の保有期間	製造終了後 7 年間

注1. 別紙は A4 又は A3 版とし、本申請書の次に添付すること。

注2. 別紙の次に、構成機器一覧表に記載した認証構成機器以外の機器の仕様、図面（カタログ類にて可）を添付すること。

関係規程 P10

太陽熱温水器及び供給体制の概要

区分記号	型式
製造工場又は製造事業所の名称	ソ振協(株) 埼玉工場
製造工場又は製造事業所の所在地	埼玉県〇〇市・・・

項目		内容		
設計の概要	(1) 外形寸法	(長さ) mm	(巾) mm	(厚さ) mm
		2,465	× 2,010	× 505
	(2) 集熱器総面積	4 m <sup>2</sup>		
	(3) 容量	200ℓ		
	(4) 質量	95 kg		
	(5) 満水時質量	310 kg		
	(6) 集熱媒体	水		
	(7) 最高使用圧	735kPa		
	(8) 外形図等	別紙「外形図：組立図」のとおり <sup>注1</sup>		
(9) 設計の要旨	*****			
構成部材	(1) 集熱板の材料と厚さ	材料：フェライト系ステンレス鋼 厚さ：0.35 mm		
	(2) 集熱板の表面処理	<input checked="" type="checkbox"/> 選択吸収膜 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> ブラックペイント		
	(3) 集熱媒体流路方式	<input checked="" type="checkbox"/> チューブインシート <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> チューブオンシート		
	(4) 透過体の材料と厚さ <sup>注2</sup>	材料：半強化ガラス、JIS〇〇〇〇 厚さ：3 mm		
	(5) 断熱材の材料と厚さ <sup>注2</sup>	集熱部	材料：グラスウール、JIS〇〇〇〇 厚さ：25 mm	
		貯湯部	材料：ポリスチレンフォーム、JIS〇〇〇〇 厚さ：30 mm	
(6) 外箱の材料と厚さ <sup>注2</sup>	集熱部	材料：塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 厚さ：0.5 mm JIS〇〇〇〇		
	貯湯部	材料：塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 厚さ：0.5 mm JIS〇〇〇〇		
供給体制等	(1) 販売方法	全国の住設店や管材店等を通して販売・施工を行う		
	(2) 供給能力	年間 5,000 台		
	(3) 販売開始時期	平成 25 年 4 月		
	(4) 販売地域	東北、北海道を除く全国		
	(5) 無償保証の期間	3 年間		
	(6) 補修部品の保有期間	製造中止後 7 年間		

注 1. 別紙の「外形図・組立図」は本申請書の次に添付すること(A4 版で作成、又は必要とする図が記載されている技術資料等)。

注 2. 材料の欄には名称と該当の JIS 番号を記入すること

関係規程 P11

太陽集熱器及び供給体制の概要

区分記号	型式
製造工場又は製造事業所の名称	ソ振協(株) 埼玉工場
製造工場又は製造事業所の所在地	埼玉県〇〇市・・・

項目	内 容
設計の概要	(1) 外形寸法 (長さ) mm × (巾) mm × (厚さ) mm 1,002 × 2,002 × 77
	(2) 集熱器総面積 2.0 m <sup>2</sup>
	(3) 質量 53.5 kg
	(4) 集熱媒体充填時質量 56 kg
	(5) 集熱媒体 水又は不凍液等
	(6) 最高使用圧 294kPa
	(7) 外形図等 別紙「外形図：組立図」のとおり <sup>注1</sup>
	(8) 設計の要旨 ***** *****
構成部材	(1) 集熱板の材料と厚さ <sup>注2</sup> 材料：フェライト系ステンレス鋼、JIS〇〇〇〇 厚さ：0.35 mm
	(2) 集熱板の表面処理 <input checked="" type="checkbox"/> 選択吸収膜 <input type="checkbox"/> その他 (                      ) <input type="checkbox"/> ブラックペイント
	(3) 集熱媒体流路方式 <input checked="" type="checkbox"/> チューブインシート <input type="checkbox"/> その他 (                      ) <input type="checkbox"/> チューブオンシート
	(4) 透過体の材料と厚さ <sup>注2</sup> 透過体 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ※有の場合は下に記入 材料：半強化ガラス、JIS〇〇〇〇 厚さ：3 mm
	(5) 断熱材の材料と厚さ <sup>注2</sup> 断熱材 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ※有の場合は下に記入 材料：グラスウール、JIS〇〇〇〇 厚さ：50 mm
	(6) 外箱の材料と厚さ <sup>注2</sup> 材料：塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 厚さ：0.6 mm JIS〇〇〇〇
	(7) PVT の発電出力(参考) ※空気集熱式に限る W
供給体制等	(1) 販売方法 メーカー系列の販売会社よりゼネコン、サブコン、設計事務所等を通して販売
	(2) 供給能力 年間 10,000 台 20,000 m <sup>2</sup>
	(3) 販売開始時期 平成 25 年 4 月
	(4) 販売地域 全国
	(5) 無償保証の期間 1 年間
	(6) 補修部品の保有期間 製造中止後 7 年間

注 1. 別紙の「外形図・組立図」は、本申請書の次に添付すること(A4 版で作成、又は必要とする図が記載されている技術資料等)。  
注 2. 材料の欄には名称と該当の JIS 番号を記入すること。

太陽蓄熱槽及び供給体制の概要

区分記号	型式
製造工場又は製造事業所の名称	ソ振協(株) 埼玉工場
製造工場又は製造事業所の所在地	埼玉県〇〇市・・・

項目	内 容
設計の概要	(1) 外形寸法 (長さ) mm × (巾) mm × (厚さ) mm 1,770 × 490 × 615
	(2) 容量 200ℓ
	(3) 質量 63 kg
	(4) 満水時質量 270 kg
	(5) 集熱媒体 不凍液 (プロピレングリコール)
	(6) 蓄熱媒体 水
	(7) 最高使用圧 450kPa
	(8) 熱源の有無と種類 <input checked="" type="checkbox"/> あり【 <input checked="" type="checkbox"/> ガス、 <input type="checkbox"/> 灯油、 <input type="checkbox"/> 電気、 <input type="checkbox"/> その他】 <input type="checkbox"/> なし
	(9) 外形図等 別紙「外形図：組立図」のとおり <sup>注1</sup>
	(10) 設計の要旨 *****
構成部材	(1) 蓄熱タンクの材料と厚さ 材料：フェライト系ステンレス鋼、JIS〇〇〇〇 厚さ：0.8 mm
	(2) 内面処理又は防食法 なし
	(3) 熱交換器の材料と厚さ <sup>注2</sup> 材料：フェライト系ステンレス鋼、JIS〇〇〇〇 厚さ：0.6 mm
	(4) 断熱材の材料と厚さ <sup>注2</sup> 材料：ポリスチレンフォーム、JIS〇〇〇〇 厚さ：35 mm
	(5) 外装材の材料と厚さ <sup>注2</sup> 材料：塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 JIS〇〇〇〇 厚さ：0.6 mm
	(6) 循環ポンプ <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
供給体制等	(1) 販売方法 メーカー系列の販売会社よりゼネコン、サブコン、設計事務所等を通して販売
	(2) 供給能力 年間 1,000 台
	(3) 販売開始時期 平成 25 年 4 月
	(4) 販売地域 全国
	(5) 無償保証の期間 1 年間
	(6) 補修部品の保有期間 製造中止後 7 年間

注 1. 別紙の「外形図・組立図」は、本申請書の次に添付すること(A4版で作成、又は必要とする図が記載されている技術資料等)。

注 2. 材料の欄には名称と該当の JIS 番号を記入すること

集熱ファン及び供給体制の概要

区分記号	型式
製造工場又は製造事業所の名称	ソ振協(株) 埼玉工場
製造工場又は製造事業所の所在地	埼玉県〇〇市・・・

項 目		内 容		
設計の概要	(1) 外形寸法	(長さ) mm 500	(巾) mm 500	(厚さ) mm 1,200
	(2) 質量	45 kg		
	(3) 外形図等	別紙「外形図：組立図」のとおり <sup>注1</sup>		
	(4) 設計の要旨	*****		
構成部材	(1) ファンの材料 <sup>注2</sup>	材料：アルミニウム、JIS〇〇〇〇		厚さ：1.2 mm
	(2) 断熱材の材料と厚さ <sup>注2</sup>	材料：硬質ウレタンフォーム、JIS〇〇〇〇		厚さ：25 mm
	(3) 外装材の材料と厚さ <sup>注2</sup>	材料：溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 JIS〇〇〇〇		厚さ：0.8mm
供給体制等	(1) 販売方法	工務店や代理店等を通して販売		
	(2) 供給能力	年間 1,000 台		
	(3) 販売開始時期	平成 25 年 4 月		
	(4) 販売地域	全国		
	(5) 無償保証の期間	3 年間		
	(6) 補修部品の保有期間	製造中止後 7 年間		

注 1. 別紙の「外形図・組立図」は、本申請書の次に添付すること(A4 版で作成、又は必要とする図が記載されている技術資料等)。

注 2. 材料の欄には名称と該当の JIS 番号を記入すること

優良ソーラーシステム認証申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

一般社団法人 ソーラーシステム振興協会  
 会 長 〇〇 〇〇 殿

(企 業 名) ソ振協株式会社 印  
 (住 所) 東京都中央区八重洲・・・  
 (代 表 者) 太陽 太郎  
  
 (連 絡 責 任 者) ソーラー 次郎  
 (所 属) 技術部  
 (連 絡 先) 東京都中央区八重洲・・・

優良ソーラーシステム認証規程第 3 条の規定に基づき、下記のソーラーシステムの認証を申請します。

記

1. ソーラーシステムの用途、名称又は型式

品 目	個別システム	区 分 記 号	Z
用 途	太陽熱給湯システム		
名 称 又 は 型 式	社員寮給湯システム		

2. システム及び供給の概要

施 設 の 名 称	ソーラーシステム株式会社社員寮		
設 置 者 名	ソーラーシステム株式会社		
施 設 所 在 地	東京都中央区八重洲*-*-*-*		
シ ス テ ム 系 統 図	添付資料「システム概要図」のとおり		
無 償 保 証 期 間 ※申請者がメーカー又は施工者の場合に記入する	1 年間	補 修 用 性 能 部 品 の 保 有 期 間	生産中止後 7 年間

3. 添付資料

- (1) 優良ソーラーシステム認証申請書 別表
- (2) システム概要図
- (3) 全体配置図（設置状況の全体がわかる平面図、立体図等）
- (4) その他審査に必要な資料



関係規程 P15

優良ソーラーシステム認証申請書 別表

施設の名 称	ソーラーシステム(寮棟)		
施設の種類	社員寮	施設の規模	延床面積：(850 m <sup>2</sup> ) (鉄筋コンクリート4階建)
システムの特徴	***** *****		

主なシステム仕様	項目	内容	項目	内容
給湯、暖房、冷房システム	集熱器方位角(°)	0	集熱器枚数(枚)	138
	集熱器傾斜角(°)	35	集熱器総面積(m <sup>2</sup> )	276
	集熱回路	開放・密閉	蓄熱槽	開放・密閉
	熱媒	水・不凍液・空気	蓄熱槽容量(ℓ)	10,000

構成機器	集熱器	型式：○○○○○	認証番号：○○○○○○○
	蓄熱槽	型式：○○○○○	認証番号：○○○○○○○
	集熱ファン	型式：○○○○○	認証番号：○○○○○○○
	補助熱源	メーカー及び型式：( ○○株式会社 )	型式 ( HB-○○ )
		新設・既設	能力：( 200kW× 2基 )
	熱交換器	熱源	灯油・ガス・電気・その他( )
		メーカー及び型式：( )	型式 ( )
	冷凍機	新設・既設	能力：( kW× 基 )
		メーカー及び型式：( )	型式 ( )
	その他の主要機器	新設・既設	能力：( kW× 基 )
メーカー及び型式：( )		型式 ( )	
ポンプ	集熱用	メーカー：(○○株式会社)、ポンプ形式：(うずまき型) 流量及び揚程：(0.15 m <sup>3</sup> /min40m)、消費電力：(3.5kW)	
	(加熱循環)用	メーカー：(○○株式会社)、ポンプ形式：(うずまき型) 流量及び揚程：(0.1 m <sup>3</sup> /min10m)、消費電力：(1.0kW)	

主要配管及びダクト・断熱等仕様	項目	配管又はダクト材料等	主な口径(mm)	熱媒温度℃	断熱材	
					材質	厚さ(mm)
	配管部	(集熱回路)	水道用ステンレス鋼管	25~50A	~80	グラスウール
	(給湯回路)	水道用ステンレス鋼管	40~60A	~80	グラスウール	50
	(熱媒回路)					

様式 1-2 別表

関係規程 P16

	制御方法又は対策	操作方法	非平常時の対応策
集熱制御	差温度サーモスタット	自動	特になし
凍結予防	落水・抜水・不凍液・熱媒循環・その他( )	無	無
沸騰対策	落水	自動	集熱ポンプ強制停止
開放形蓄熱槽の液面制御	電極棒方式・ボールタップ方式・シスターン方式 その他( )	自動	給水停止

太陽熱利用熱量	項目	単位	冬期	中間期	夏期	年間計	備考
			12,1,2月	3,4,5,9,10,11月	6,7,8月		
	A 推計エネルギー負荷熱量	GJ/期	426	866	436	1728	太陽依存率 (B/A)=0.355
	B 推計太陽熱利用熱量	GJ/期	117	309	188	614	

- 注1. 申請するソーラーシステムに該当しない項目には「-」を記入すること。  
 注2. 選択記入欄 ( ) には該当する項目を○印で囲うこと。その他の欄は記述すること。  
 注3. システム概要図にシステムの作動及び制御フロー図、集熱器接続配管、集熱器取付仕様、架台施工仕様、蓄熱槽固定方法等の概要図を記入又は添付すること。  
 注4. その他、暖冷房機器の構造及び仕様を示す略図又はカタログを添付すること。

ソーラーシステム性能説明書

区分記号	W	型式	PSW-0420、PSW-0620 PSW-0820、PSW-1020	申請者名	ソ振協株式会社
------	---	----	--	------	---------

申請するソーラーシステムに該当しない項目には「-」を記入すること。

項 目	判定基準 (詳細は「審査項目及び判定基準」による)	汎用システム	個別システム	内容及び添付書類名	頁	チェック	
1 安全性に関する基準	1.1. 取付に係る安全性	(1) 太陽集熱器 販売地域及び条件範囲で「住宅用ソーラー施工技術の基礎知識」等により外力に対する安全性が示されていること。	○	-	構造計算書		
		設置する地点及び設置条件で、外力に対し十分な強度を有することを強度試験又は構造計算書で示すこと。	-	○	-		
		(2) 太陽蓄熱槽 販売地域及び条件範囲で「住宅用ソーラー施工技術の基礎知識」等により外力に対する安全性が示されていること。	○	-	構造計算書		
		設置する地点及び設置条件で、外力に対し十分な強度を有することを強度試験又は構造計算書で示すこと。	-	○	-		
	1.2. 使用上の安全性	(1) 発火性等 外装材に不燃材等が使用されていること。	○	○	使用材料表		
		(2) 構成機器の形状、加工状態 怪我につながる不具合がないこと。	○	-	怪我につながる不具合なし 構成機器の外形図		
		(3) 出湯温度（給湯システムに限る） 【補助熱源を含まないもの】ソーラーシステムからの出湯温度が 85℃以下のこと。 【補助熱源を含むもの】設定温度で出湯できること。 自動湯張り機能付きの補助熱源機の場合は、機器からの温水が入水した場合でも浴槽内の温度が設定温度（T℃）±3Kのこと 完成後、引渡書等 <sup>※</sup> で示すこと。	○	-	最高出湯温度 83℃ ハイカットで集熱停止		
		(4) 操作性 操作部は操作方法が容易で、高齢者、子供等を含めて誤操作による危険が生じないように工夫されてものであること。	○	-	問題なし 操作方法、操作部の外観		
		(5) 火傷防止 利用者が手を触れる危険がある場合には、火傷予防の措置を行う。又は適切な位置に火傷の予防についての表示を行うこと。	○	-	問題なし 取扱説明書		
		(6) 空気集熱式の空気質 建築基準法施行令第 20 条の 7 第 1 項 1 号、2 号に規定するホルムアルデヒド発散建築材料に該当しないこと又は同条第 4 項に基づく国土交通大臣の認定を受けたものであること。	○	○	-		

項目	判定基準 (詳細は「審査項目及び判定基準」による)	汎用システム	個別システム	内容及び添付書類名	頁	チェック		
	(7) 熱媒の漏洩 (不凍液等を熱媒とする給湯システムに限る) 熱媒は健康上の有害でないこと。 熱媒の減少を知らせるための機能を備えていること。	○	○	プロピレングリコール使用 プロピレングリコールの SDS				
	(8) 絶縁抵抗 (電力を使用する主要構成機器(蓄熱槽・集熱ファンを除く)に限る) 1MΩ以上であること。	○	—	∞ 絶縁抵抗試験結果				
	主要構成機器(蓄熱槽除く)の絶縁抵抗が1MΩ以上であること。又はシステム完成後に絶縁抵抗試験を行い1MΩ以上であること。	—	○	—				
	(9) 注水絶縁抵抗 主要構成機器の注水絶縁抵抗については機器単体で試験を行い、1MΩ以上であること。	○	—	100MΩ以上 注水絶縁抵抗試験結果				
	(10) 非平常時安全性 想定される非平常作動時の安全な対応方法が取扱説明書又は引渡書等 <sup>注1)</sup> で示されること。	○	○	取扱説明書				
	(11) 集熱器のガラスの破壊時飛散 ガラスの破壊時にガラスが小片に割れない場合は集熱器設置範囲内にとどまる等、安全性を配慮した取付方法であること。	○	○	ガラス破壊時飛散の説明資料				
	(12) 保守点検時の安全性 安全な保守点検方法が取扱説明書または引渡書等 <sup>注2)</sup> で示されること。	○	○	取扱説明書参照				
2 性能に関する基準	2.1 集熱システムの構成	太陽熱システムの構成を示し、対象になる全ての組み合わせシステムについて不合理な組み合わせでないこと。		○	—	太陽熱システムの構成表		
	2.2 システム集熱性能	SS-TS001「太陽熱利用給湯システム集熱性能試験」による試験結果を添付すること。		○	—	集熱量=6MJ/m <sup>2</sup> ・日 (集熱効率 29%) SSS-TS001 試験結果		
	2.3 太陽熱利用熱量	販売地域及び条件範囲で集熱性能等を基に計算し、少なくとも1地域以上示されていること。		○	—	カタログ、技術資料		
		設置地点及び設置条件における計算結果を示すこと。		—	○	—		
	2.4 熱搬送、配管部性能	(1) 集熱ポンプ、熱媒ポンプ、(集熱ファン)、給湯加圧ポンプ等はP-Q線図又は選定理由を示すこと。		○	○	PQ線図		
		(2) 熱交換器の熱交換性能を示すこと。又は選定理由を示すこと。		○	○	熱交換性能		
		(3) 熱交換器の圧力損失を示すこと。又は選定理由を示すこと。		○	○	圧力損失		
		(4)配管の放熱量が0.41W/K・m以下のこと。		○	—	放熱量=0.32W/K・m 放熱量試験結果		
		(5)主要な配管及び空気集熱式のダクトの断熱材の種類、厚さを示すこと。		—	○	—		
	2.5 制御	制御フローが示され、適切な制御が行われていること。		○	○	制御フロー		
2.6 消費電力	システムを構成する機器単体(蓄熱槽・集熱ファンを除く)で試験を行い、 ・定格消費電力が100W以下のものは、表示値に対する差が±15%以内であること。 ・定格消費電力が100Wを超えるものは、表示値に対する差が±10%以内であること。		○	—	構成機器(蓄熱槽)で試験済			
	構成機器の最大消費電力を示すこと。		—	○				

様式 2

項 目		判定基準 (詳細は「審査項目及び判定基準」による)	汎用システム	個別システム	内容及び添付書類名	頁	チェック
	2.7 電圧変動	システムを構成する機器単体(蓄熱槽・集熱ファンを除く)で試験を行い、提示定格電圧の90%及び110%の電圧を与え、連続10回始動すること。また、この時運転中誤動作等の支障が生じないこと。	○	—	構成機器(蓄熱槽)で試験済		
	2.8 騒音	最大時60dB(A)以下、集熱運転時50dB(A)以下であること。	○	—	構成機器(蓄熱槽)で試験済		
	2.9 太陽熱利用熱量計測 (熱量計測機能等を有しているシステムに限る)	適切な熱量計等を用い、適切な位置に設置されていること。	○	○	システム図		
3 信頼性及び耐久性に関する基準	3.1 屋外に設置される機器の塗装された外装部材等	(1)付着性：塗膜の剥がれがないこと。	○	○	付着性試験結果		
		(2)耐久性：割れ、膨れ、剥がれ及びさびがないこと。	○	○	塩水噴霧試験結果		
	3.2 屋外に設置される機器の塗装しない外装部材及び架台等	SUS304相当以上又は溶融亜鉛めっきHDZ35以上であること。	○	○	仕様書		
		【上記以外の材料】割れ、膨れ、剥がれ及びさびがないこと。	○	○	塩水噴霧試験結果		
3.3 集熱制御装置の耐久性	30,000回の開閉動作を行い、開閉差温値が初期値の±30%であること。	○	—	構成機器(蓄熱槽)で試験済			

注. 引渡書記載項目はシステム設計仕様書、システム図、配管系統図、機器配置図、取扱説明書、使用上の注意事項、非平常時の対応方法、試運転報告書、保守点検項目と方法、サービス窓口、点検・保守体制等。

関係規程 P20

供給体制等に対する説明書  
(汎用システム、太陽熱温水器、太陽集熱器、太陽蓄熱槽、集熱ファン)

区分記号	W	型式	PSW-0420、 PSW-0620 PSW-0820、 PSW-1020	申請者名	ソ振協株式会社
------	---	----	--	------	---------

項 目		内容	添付書類名	頁	チェック		
供給体制	1. 供給体制等	1.1 品質管理	ISO9001	ISO9001 認証書			
		1.2 品質保証		保証書			
	2. 施工の担保	2.1 適切なインターフェイスの設定		設計説明書、施工説明書			
		2.2 施工方法・納まり等		施工説明書			
		2.3 施工品質	ソーラー施工士が施工、監督する	施工体制図			
	3. 情報提供	3.1 製品仕様		システム仕様書			
		3.2 使用		取扱説明書			
		3.3 施工		施工説明書			
		3.4 保険		契約概要			
		3.5 表示	本体に表示	銘板の貼付図			
		3.6 認証証紙	本体に認証証紙を貼付	銘板の貼付図			
	4. 確実な維持管理体制の整備	4.1 相談窓口		取扱説明書			
		4.2 維持管理体制		維持管理体制図			
		4.3 維持管理に係る情報管理		維持管理体制図			
	環境配慮	1. 環境に対する配慮	1.1 製造場の活動		ISO14001 環境マネジメントシステム登録証		
			1.2 ライフサイクルの各段階				
			(1)材料調達		環境配慮に関する社内規定		
			(2)製造・流通時		環境配慮に関する社内規定		
(3)施工時				施工説明書			
(4)使用時				取扱説明書			
(5)更新・取り外し時				取扱説明書			
(6)処理・処分時		取扱説明書					

太陽熱温水器性能説明書

区分記号	SW	型式	〇〇-〇〇〇〇	申請者名	ソ振協株式会社
------	----	----	---------	------	---------

注) 申請する太陽熱温水器に含まれない項目は除く。

項目	判定基準	内容及び添付書類名	頁	チェック
1. 機能の確保	1.1 集熱性能	集熱量が 8,374kJ/m <sup>2</sup> ・日以上であること。	9,216 k J / m <sup>2</sup> ・日 集熱性能試験結果	
	1.2 保温性能	実効熱損失係数 KA が 5.81W/K 以下であること。	3.81W / K 保温性能試験結果	
	1.3 有効出湯効率	有効出湯効率が 75%以上であること。 また、給湯回路が熱交換器である蓄熱槽の有効出湯効率は 40%であること。	80.8% 有効出湯効率試験結果	
	1.4 耐圧	漏れのないこと。	漏れなし 耐圧試験結果	
2. 機械的な抵抗力及び安定性の確保	2.1 取付に係る安全性	取付にかかる安全性が計算により確保されていること。	構造計算書	
	2.2 強度及び剛性	(1)集熱部の剛性：一端を持ち上げ、他の三端の内的一端が離れるまでの距離が 100mm 以下であること。	48mm 集熱部の剛性試験結果	
		(2)機器の剛性：漏れ又は破損及び著しい変形がないこと。	破損、変形、漏れなし 機器の剛性試験結果	
		(3)固定部の強度：破損、著しい変形及び離脱がないこと。	破損、変形、離脱なし 固定部の強度試験結果	
		(4)取付金物の強度：破損、著しい変形及び離脱がないこと。	破損、変形、離脱なし 取付金物の強度試験結果	
		(5)機器の強度：破損がないこと。	破損なし 機器の強度試験結果	
		(6)透過体の耐衝撃性：ひび又は割れのないこと。	ひび、割れなし 透過体の耐衝撃性試験結果	
	2.3 耐空焚き	漏れ又は著しい変形がないこと。	漏れ、変形なし 耐空焚き試験結果	
	2.4 耐凍結性	凍結破壊又は目視で確認できる変形、漏れがないこと。	変形、漏れなし P** 耐凍結性試験結果	
2.5 耐沸騰	水漏れ及び著しい変形がないこと。	水漏れ、変形なし 耐沸騰試験結果		
2.6 耐熱衝撃通水	水漏れ及び著しい変形がないこと。	水漏れ、変形なし 耐熱衝撃通水試験結果		
2.7 耐熱衝撃散水	著しい変形及び浸水が生じないこと。	変形、浸水なし 耐熱衝撃散水試験結果		
2.8 貯湯槽容量	密閉形：表示値の±3%以内であること。 開放形：表示値の±5%以内であること。	開放形 表示値 200L に対し 195L：表示値の-2.5% 貯湯槽容量試験結果		
3. 使用時の安全性及び保安性の確保	3.1 形状・加工状態	身体に触れる部分は、鋭利な突起等がないこと。	鋭利な突起なし 外形図	
	3.2 発火性	不燃材等が使用されていること。	火災の原因にならない 使用材料表	
	3.3 火傷予防	利用者が手を触れる危険がある場合には、火傷予防の措置を行う。又は適切な位置に火傷の予防についての表示を行うこと。	取扱説明書	

項目	判定基準	内容及び添付書類名	頁	チェック
3.4 集熱部のガラスの飛散防止	ガラスの破損時にガラスが小片に割れる又は集熱器設置範囲内にとどまるなど、安全性に配慮された構造であること。	ガラスが割れた場合、受熱箱内に納まる ガラス飛散防止試験結果		
4. 性の上の健康確保 4. 出湯水の水質 (密閉型に限る)	厚生労働省で定める浸出基準を満たすこと。	進出基準を満足する 水質検査成績書		
5. 耐久性の確保	5.1 集熱部・貯湯部の外装	(1)塗装鋼板、塩化ビニル樹脂金属積層板の塗膜の付着性：塗装の剥がれないこと。 塗装の剥がれ無 塗膜の付着性試験結果		
		(2)塗装鋼板、塩化ビニル樹脂金属積層板の塗膜の耐塩水性：塩水噴霧試験を行った後、割れ、膨れ、剥がれ又はさびがないこと。 割れ、膨れ、剥がれ、さびなし 塩水噴霧試験結果		
		(3)ガラス繊維強化ポリエステル <sup>の</sup> 引張強さ：19.6MPa 以上であること。 —		
		(4)ポリエチレン、ポリプロピレン <sup>の</sup> 引張強さ：14.7MPa 以上であること。保持率 60%以上であること。 —		
	5.2 集熱体 (透過体のないものに限る)	(1)付着性：塗装の剥がれないこと。 —		
		(2)耐塩水性：割れ、膨れ、剥がれ又はさびがないこと。 —		
		5.3 外装箱の被膜性能	(1)耐塩水性：割れ、膨れ、剥がれ又はさびがないこと。 塩水噴霧試験結果	
	(2)耐衝撃性：割れ、剥がれないこと。 割れ、剥がれなし 耐衝撃性試験結果			
	(3)硬度：硬度 HB 以上であること。 硬度H 塗膜の硬度試験結果			
	5.4 プラスチック透過体	初期値の 75%以上であること。 —		
5.5 反射体	初期値の 70%以上であること。 —			



構成機器性能説明書 (太陽集熱器)

区分記号	C - C	型式	SSC-1020	申請者名	ソ振協株式会社
------	-------	----	----------	------	---------

申請する太陽熱集熱器に含まれない項目は除く。

項目	判定基準	内容及び添付資料名	頁	チェック	
1. 機能の確保	1.1 集熱性能	集熱量が試験などで確認されていること。 液体集熱式：8,372kJ/(m <sup>2</sup> ・日)以上、 空気集熱式：6,279kJ/(m <sup>2</sup> ・日)以上であること。b <sub>0</sub> 、b <sub>1</sub> を示すこと。	12,590 k J / m <sup>2</sup> ・ 日 集熱性能試験結果 b <sub>0</sub> =〇〇、b <sub>1</sub> =〇〇		
	1.2 耐圧性能	液体集熱式：集熱媒体、作動媒体のいずれも漏れのないこと。 空気集熱式：破損、著しい変形のないこと。	変形及び漏れなし 耐圧性能試験結果		
	1.3 圧力損失	圧力損失特性線図が示されること。	圧力損失線図		
2. 強度及び剛性	2.1 本体強度	本体の最高許容荷重が明示されていること。 (1)破損及び著しい変形がないこと。 (2)透過体がプラスチックの場合は、集熱体に密着していないこと。	破損、変形なし 本体強度試験結果		
	2.2 取付部強度	(1)取付部強度：破損、著しい変形及び取付部の離脱がないこと。	破損、変形、離脱なし 取付部強度試験結果		
		(2)取付金物の強度：破損、著しい変形及び取付部の離脱がないこと。	破損、変形、離脱なし 取付金物の強度試験結果		
	2.3 剛性	破損及び著しい変形がないこと。	破損、変形なし 剛性試験結果		
	2.4 透過体の耐衝撃性 (透過性のないものは除く)	破損がないこと。	破損なし 透過体の耐衝撃性試験結果		
	2.5 耐空焚き	破損及び著しい変形がないこと。	破損、変形なし 耐空焚き試験結果		
	2.6 耐凍結性 (液体集熱式に限る)	冷媒、不凍液だけで凍結防止をする構造以外の集熱器の耐凍結性能は、「耐凍結試験」を行い、漏れが生じないこと。	—		
	2.7 耐沸騰 (液体集熱式に限る)	水漏れ及び著しい変形がないこと。	漏れ、変形なし 耐沸騰試験結果		
	2.8 耐熱衝撃通水 (液体集熱式に限る)	水漏れ及び著しい変形がないこと。	漏れ、変形なし 耐熱衝撃通水試験結果		
2.9 耐熱衝撃散水	著しい変形及び浸水が生じないこと。	変形、浸水なし 耐熱衝撃散水試験結果			

項 目	判定基準	内容及び添付資料名	頁	チェック
3. 健康上の安全性の確保	3.1 空気集熱式の空気質	構成部品に使用する材料は、次のいずれかであること。 ① 建築基準法施行令第 20 条の 7 第 1 項第 1 号に規定する第一種ホルムアルデヒド発散建築材料又は同項第 2 号に規定する第二種ホルムアルデヒド発散建築材料若しくは第三種ホルムアルデヒド発散建築材料のいずれにも該当しないものであること。 ② 同条第 4 項に基づく国土交通大臣の認定を受けたものであること。	—	
	3.2 ガラスの飛散防止	ガラスの破損時にガラスが小片に割れる又は集熱器設置範囲内にとどまるなど、安全性に配慮された構造であること。	ガラスが割れた場合、受熱箱内に納まる ガラス飛散防止試験結果	
	3.3 火傷予防	利用者が手を触れる危険がある場合には、火傷予防の措置を行う。又は適切な位置に火傷の予防についての表示を行うこと。	取扱説明書	
	3.4 発火性	不燃材等が使用されていること。 ただし建材一体型においては、建築基準法等の法規に適合すること。	使用材料表	
4 健康上の安全性の確保	出湯水の水質	給水装置の構造及び材質の基準に関する省令の基準を満たすこと。ただし、集熱器の出湯水を直接飲用に用いないものは除く。	—	
5 耐久性	5.1 集熱体及び外装箱の被膜性能 (集熱体は透過体のないものに限る)	(1) 附着性：塗膜の剥がれがないこと。	集熱体： 附着性試験結果 外装箱： 附着性試験結果	
		(2) 耐塩水性：割れ、膨れ、剥がれ及びさびがないこと。	集熱体： 耐塩水噴霧試験結果 外装箱： 耐塩水噴霧試験結果	
		(3) 耐衝撃性：割れ、剥がれがないこと。	集熱体： 耐衝撃性試験結果 外装箱： 耐衝撃性試験結果	
		(4) 硬度：HB 以上であること。	集熱体： 塗膜の硬度試験結果 外装箱： 塗膜の硬度試験結果	
	5.2 集熱体の吸収面の性能	耐熱性・耐候性ともに、吸収率 $\alpha$ の保持率が90%以上のこと。	耐熱性、耐候性：99%以上 吸収面の耐熱、耐候性試験結果	
	5.3 外装材	(1) 外装用プラスチック、ガラス繊維強化ポリエステルの引張強さ：19.6MPa 以上のこと。	—	
		(2) 外装用プラスチックポリエチレン、ポリプロピレンの引張強さ：14.7MPa 以上。保持率 60%以上のこと。	—	
	5.4 透過体透過率 (表面処理のないガラスを除く)	初期値の 75%以上のこと。	—	
	5.5 反射体	初期値の 70%以上のこと。	—	

構成機器性能説明書（太陽蓄熱槽）

区分記号	C - S	型式	SST-200	申請者名	ソ振協株式会社
------	-------	----	---------	------	---------

申請する太陽熱蓄熱槽に含まれない項目は除く。

項目	判定基準	内容及び添付資料名	頁	チェック	
1. 性能 の 確保	1.1 保温性能  (10000未満の蓄熱槽) 熱損失係数 KA が、蓄熱槽容量 V(m <sup>3</sup> ) に対して 3.5V+5.81(W/K)以下である こと。 (10000を超える蓄熱槽) 蓄熱槽容量 V(m <sup>3</sup> )に対し KA=14.5× V <sup>0.59</sup> 以下のこと。	KA=4.5W/K 保温性能試験結果			
	1.2 有効利用熱量  【汎用システム】有効出湯効率 η γ 80%以上であること。また、給湯用水 を貯蔵しない蓄熱槽の有効出湯効率は 40%であること。 【個別システム】文書「設計計画書」 等にて示されていること。	η γ =90% 有効利用熱量試験結果			
	1.3 熱交換性能  十分な熱交換性能を有し、熱交換量線 図が示されていること。	熱交換量線図			
	1.4 耐圧  漏れ、著しい変形のないこと。	漏れ、変形なし 耐圧試験結果			
	1.5 ポンプ性能 (蓄熱槽に内蔵される ものに限り)	集熱、給湯、暖房等に使用するポンプ は PQ 特性線図が明らかになっている こと。	PQ 特性線図		
	1.6 圧力損失 (間接蓄熱形かつ熱交 換器を内蔵するもの に限り)	熱交換器の圧力損失線図又は機外揚程 が示されていること。	—		
	1.7 消費電力  ・定格消費電力 100W 以下のものは、 表示値に対する差が±15%以内であ ること。 ・定格消費電力 100W を超えるものは、 表示値に対する差が±10%以内であ ること。	消費電力試験結果			
	1.8 電圧変動  提示定格電圧の 90%及び 110%の電圧 を与え、連続 10 回始動すること。ま た、この時運転中誤動作等の支障が生 じないこと。	始動し、誤動作なし 電圧変動試験結果			
	1.9 水質汚染  密閉形の蓄熱槽は公的機関の試験合格 書を添付する。未取得場合は厚生労働 省で定める浸出基準を満足すること。 開放形の蓄熱槽はその構造及び材料に ついて構造図等を添付すること。また、 取扱説明書等で使用上の注意喚起を行 っていること。	浸出基準を満足する 水質検査成績書			
	1.10騒音  最大時 60dB(A)以下 集熱運転時 50dB(A)以下	最大値=集熱運転時=48dB (A) 騒音試験結果			

項目	判定基準	内容及び添付資料名	頁	チェック
1.11 蓄熱槽容量	(10000未満の蓄熱槽) ・密閉形 表示値に対する差が±3%以内であること。 ・開放形 表示値に対する差が±5%以内であること。 (10000を超える蓄熱槽) 設計値に対する差が±5%以内であること。	密閉形 表示値 200L に対し、198L: 誤差 - 1 % 蓄熱槽容量試験結果		
2. 耐久性の確保	2.1 集熱制御装置の耐久性	30,000 回の開閉動作を行い、開閉差温度が初期値の±30%であること。	初期値の 0% 制御装置の耐久性試験結果	
	2.2 外装材の塗膜性能	(1)付着性: 塗膜の剥がれがないこと。	付着性試験結果	
		(2)耐塩水性: 割れ、膨れ、剥がれ及びさびがないこと。	塩水噴霧試験結果	
		(3)耐衝撃性: 割れ、剥がれがないこと。	耐衝撃性試験結果	
(4)硬度: HB 以上であること。		塗膜の硬度試験結果		
3. 安全性の確保	3.1 注水絶縁抵抗	絶縁抵抗: 1 MΩ 以上であること。 耐電圧: 耐えること。	∞ 注水絶縁性能試験結果	
	3.2 絶縁抵抗	1 MΩ 以上であること。	∞ 絶縁性能試験結果	
	3.3 耐電圧	耐えること。	異常なし 耐電圧試験	
	3.4 蓄熱槽の転倒防止	【汎用システム】 販売地域及び条件範囲で「住宅用ソーラー施工技術の基礎知識 (社)ソーラーシステム振興協会)」等により外力に対する安全性が示されていること。 【個別システム】 設置する地点及び設置条件で、外力に対し十分な強度を有することを強度試験又は構造計算書で示すこと。	構造計算書	
	3.5 発火性	不燃材等が使用されていること。	外装材は溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 使用材料表	
	3.6 操作部の表面温度 (蓄熱槽の本体に操作部があるものに限る)	操作温度と室温との差が金属・陶磁器では 25℃ 以下、プラスチックでは 35℃ 以下であること。	13.5℃ (周囲温度 15.5℃ - 表面温度 29℃) 操作部の表面温度試験結果	
	3.7 アース端子	アース端子がついていること。	アース端子あり 工事説明書	
	3.8 耐寒性能 (寒冷地仕様に限る)	再通水時に通水できること。また、漏れ、著しい変形のないこと。	通水可、漏れ・変形なし 耐寒性能試験結果	
	3.9 構造	(1)排水口: 設置した状態で容易に蓄熱タンク内の水を抜くことができる排水口を設けること。ただし、排水口は配管した後給水口を兼ねていないこと。	排水口あり、給水口を兼ねていない 作動原理図	
(2)減圧弁・逃し弁: 蓄熱タンク内の圧力が上昇したとき、適切なゲージ圧で作動する逃し弁を接続できること。又は給湯出口の接続部に逃がし効果が十分にある逃がし管を接続できる構造であること。		逃し弁あり 作動原理図		

項	目	判定基準	内容及び添付資料名	頁	チェック
		(3)材料の品質：日本工業規格が定められている部品及び付属品については、当該日本工業規格又はこれと同等以上の品質及び性能を有すること。	使用材料表		
		(4)メンテナンス性：掃除、手入れなどのために取り外しを必要とする部分は、通常の工具又は付属の専用工具で容易に着脱ができる構造であること。	通常の工具で可能 工事説明書		
3.10	熱媒体	熱媒は健康上有害でないこと。	プロピレングリコール プロピレングリコールの(M)SDS		
3.11	出湯温度 (補助熱源一体型に限る)	蓄熱槽からの出湯温度を適切にコントロールする機能を有すること。	-		

構成機器性能説明書（集熱ファン）

区分記号	C - F	型式	〇〇-〇〇〇〇	申請者名	ソ振協株式会社
------	-------	----	---------	------	---------

申請する集熱ファンに含まれない項目は除く。

項目	判定基準	内容及び添付資料名	頁	チェック
1. 機能の確保	1.1 消費電力	100W 以下は表示値の±15%、100W 以上は表示値の±10%であること。	消費電力試験結果	
	1.2 電圧変動	提示定格電圧の 90%および 110%の電圧を与え、連続 10 回始動すること。運転中誤動作などないこと。	始動可、誤動作なし 電圧変動試験結果	
	1.3 騒音	集熱運転時 50dB(A)以下であること。	48dB(A) 騒音試験結果	
	1.4 圧力損失	集熱ファンの圧力損失線図が明らかになっていること。	圧力損失線図	
2. 安全性の確保	2.1 振動	著しい振動が無いこと	大きな振動なし 振動試験結果	
	2.2 耐湿絶縁性能	ファンの絶縁抵抗が 0.3MΩ 以上であること。	100MΩ 以上 耐湿絶縁性能試験結果	
	2.3 空気質	建築基準法施行令第 20 条の 7 第 1 項第 1 号 2 号に該当しないこと。又は国交省大臣の認定をうけていること。	認定証	
3. 火災に対する安全性の確保	温度上昇	温度試験の性能を満たしていること。	温度試験を満足する 温度試験結果	
4. 耐久性の確保	集熱制御装置の耐久性	30,000 回の繰り返し試験にて初期値より±30%であること。	初期値の 0% 制御装置の耐久性試験結果	

業務経歴書

企業名	ソ振協株式会社		
住所	東京都中央区八重洲・・・		
創立年月日	平成〇年〇月〇日	資本金	〇,〇〇〇百万円
事業内容 (比率)	〇〇部品の製造販売 (〇〇%)、太陽熱機器の製造販売 (〇〇%)		
代表役員	代表取締役社長 太陽 太郎		
担当者	〇〇部 部長 温水 次郎		
業績 (過去 2 年分)	期別	売上高	経常利益
	2014 年	〇〇百万円	〇〇百万円
	2015 年	〇〇百万円	〇〇百万円

ソーラーシステム等の関係

現状及び将来計画	*****
従業員数	〇〇〇人
組織の概要	別紙
主な所属団体	一般社団法人ソーラーシステム振興協会 一般社団法人日本太陽エネルギー学会 一般社団法人リビングアメニティー協会

優良ソーラーシステム認証変更届

平成〇〇年〇〇月〇〇日

一般社団法人ソーラーシステム振興協会

会長 〇〇 〇〇 殿

(企業名) ソーラーシステム株式会社

(住所) 東京都中央区八重洲・・・

(代表者) 太陽 太郎 印

(連絡責任者) ソーラー 次郎

(所属) 技術部

(連絡先) 東京都中央区八重洲・・・

優良ソーラーシステム認証規程第 7 条又は第 8 条第 1 項の規定に基づき、下記の通り変更等をしたいので届出します。

記

1. ソーラーシステム等の認証番号、名称及び型式

認証番号	〇〇〇〇〇〇
名称及び型式	汎用システム 給湯システム (W) PSW-0420、PSW-0620、PSW-0820、PSW-1020

2. 変更等の内容

変更等年月日	認証の内容	変更後の内容	変更の理由
平成〇〇年〇〇月〇〇日	汎用システム (給湯システム)	***** ***** *****	***** ***** ***** *****



優良ソーラーシステム認証証紙の使用許諾申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

一般社団法人ソーラーシステム振興協会

会長 〇〇 〇〇 殿

(企業名) ソ振協株式会社

(代表者名) 太陽 太郎 印

(住所) 東京都中央区八重洲・・・

認証証紙取扱規程第 2 条の規定に基づき、下記の通り優良ソーラーシステム認証証紙の使用許諾を申請いたします。

記

1. 対象となるソーラーシステム等


種類	名称	型式	認証番号	認証年月日	認証の有効期限
汎用システム	給湯システム	PSW-0420 PSW-0620 PSW-0820 PSW-1020	〇〇〇〇〇〇〇	平成〇年〇月〇日	平成〇年〇月〇日

2. 本申請に係る業務の責任者

所属 ソ振協株式会社 品質管理部

役職・氏名 部長 太陽 次郎

住所・電話番号 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

証紙頒布に使用する印 

3. 本申請を代行する場合の責任者

会社名

所属

役職・氏名

住所・電話番号

証紙頒布に使用する印

注1. 申請書の提出部数は正 1 部、副 2 部とする。

注2. 用紙の大きさは日本工業規格で定める A4 とする。

注3. 申請書は認証書ごとに作成するものとする。

関係規程 P40

優良ソーラーシステム認証証紙頒布請求書兼その他の表示実施報告書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

一般社団法人ソーラーシステム振興協会 御中

証紙頒請求 (該当に✓)  その他の表実施報告  
 実施期間：〇〇年〇月〇日～〇〇年〇月〇日

請求者 (該当に✓)  
 申請者  申請代行者  
 〒〇〇〇-〇〇〇〇  
 住所 東京都中央区八重洲・・・  
 会社名 ソ振協株式会社  
 所属 品質保証部  
 電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇  
 責任者 太陽 次郎 印

品目と区分記号	型式名	認証番号	請求枚数(枚) 又は表示数	単価 (円) 税抜	金額 (円) 税抜
汎用システム 給湯システム (W)	PSW-0420 PSW-0620 PSW-0820 PSW-1020	〇〇〇〇〇〇〇	5,000	〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇
太陽集熱器 (SW)	SSC-1020	〇〇〇〇〇〇〇	15,000	〇〇〇	〇,〇〇〇,〇〇〇
合計				小計	
				消費税込合計	

注1. 責任者名および印は、証紙の使用許諾申請者に記載の責任者と同一とします。  
 注2. 汎用システムの蓄熱槽にはシステム認証の証紙のみを貼り付けるため、蓄熱槽分の証紙は送付しません (請求及び支払いはあり)。

- ・証紙頒布請求の場合は、頒布請求書受領後に協会からお送りする請求書をご確認の上、下記口座へお振込み願います。入金確認後に証紙を発送いたします。
- ・その他の表示 (印刷等) の場合は、実施報告書受領後に協会からお送りする請求書をご確認の上、下記口座へお振込み願います。

みずほ銀行 東京営業部 普通口座 1813909 一般社団法人ソーラーシステム振興協会

関係規程 P41

合体証紙頒布請求書兼その他の表示実施報告書

平成 年 月 日

一般社団法人ソーラーシステム振興協会 御中

請求者 (該当に✓)

申請者 申請代行者

〒

住所

会社名

所属

電話番号

責任者

印

合体証紙頒布請求  
(該当に✓)

その他の表示実施報告  
実施期間： 年 月 日～ 年 月 日

BL 認定番号	型式名	品目と区分記号	ソ振協認証番号	請求枚数(枚) 又は表示数	単価 (円) 税抜	金額 (円) 税抜
合計						

注1. 責任者名および印は、証紙の使用許諾申請者に記載の責任者と同一とします。

注2. 金額はすべて税抜でご記入ください。事務局よりお送りする請求書には BL 保険を除いた金額に課税した合計額で請求いたします。(BL 保険は非課税です)

- ・証紙頒布請求の場合は、頒布請求書受領後に協会からお送りする請求書をご確認の上、下記口座へお振込み願います。入金確認後に証紙を発送いたします。
- ・その他の表示(印刷等)の場合は、実施報告書受領後に協会からお送りする請求書をご確認の上、下記口座へお振込み願います。

みずほ銀行 東京営業部 普通口座 1813909 一般社団法人ソーラーシステム振興協会